
空

江角 稚

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空

【Nコード】

N1239BA

【作者名】

江角 稚

【あらすじ】

ゴンギツネさんに感化され、”空”を題材にした話を書きました。

そしたら・・・何やら哲学ちつく。

いつも通り、江角クオリティですよー。

空は青。

明るくも暗くもない、青。

透き通るような青空。

空って不思議。

青だけじゃないから。

時々、明るいオレンジがあつて。

だから、暗闇の夜が来る。

もしこれが、不変な白夜なら・・・ねえ？

きつと、一晩中明るい未来だけ。

それは美しいけど、退屈でしょう。

すぐ、飽きてしまう景色でしょう。

幸せなのに。

平凡なのに。

まるで”幸せ症候群”にかかったかのように、自らの幸せを壊してしまおうでしょう。

”幸せ過ぎて怖い”と言って。

もしこれが、不変な夜だけの世界なら・・・ねえ？

きっと、一晩中暗い未来だけ。

それは絶望的だけど、すぐ、慣れてしまおうでしょう。

人々は、電気を発明してしまえるのですし。

そして、生まれた時から明るい空を知らぬ者は。

暗闇を、恐れないはず。

何が”恐れるべき”なのか、知らずに育つから。

絶望なのに。

恐ろしいのに。

貴方はどう思いますか？

(後書き)

空を、見上げてみて下さい。

今、貴方の瞳には、

何色の空が写りますか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1239ba/>

空

2012年1月3日00時55分発行